

# 第8章 産業

## 1 産業3部門別就業者

### 第3次産業就業者数が74.8%を占める

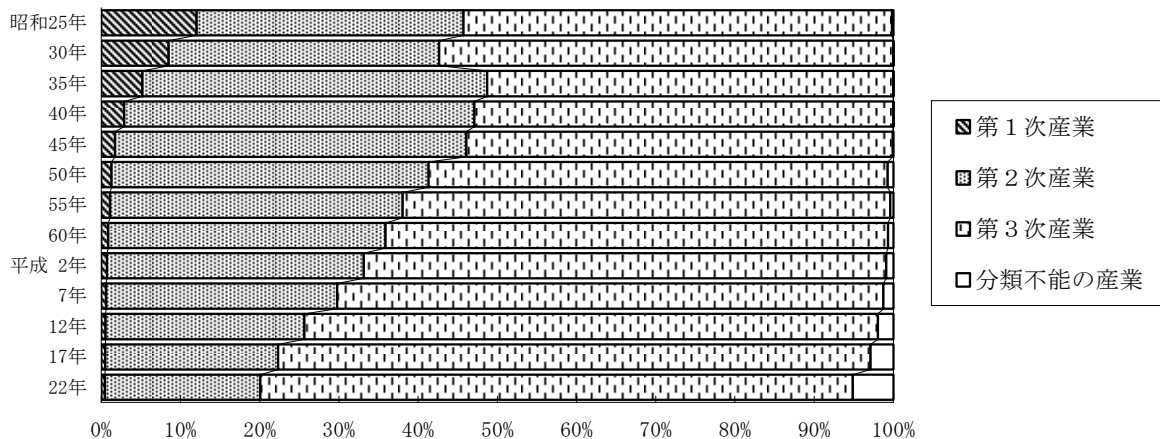
15歳以上就業者数（1,703,374人）を産業3部門別にみると、「第1次産業」は7,814人（15歳以上就業者の0.5%）、「第2次産業」は334,137人（同19.6%）、「第3次産業」は1,274,381人（同74.8%）となっています。（表8-1、図8-1）

表8-1 産業（3部門）別15歳以上就業者数の推移（昭和25年～平成22年）

年次	就業者数				割合(%)		
	総数 <sup>1)</sup>	第1次産業 <sup>2)</sup>	第2次産業 <sup>2)</sup>	第3次産業 <sup>2)</sup>	第1次産業	第2次産業	第3次産業
昭和25年 <sup>3)</sup>	357,112	43,033	120,323	193,076	12.1	33.7	54.1
30年	447,878	38,073	153,070	256,643	8.5	34.2	57.3
35年	604,504	31,336	263,241	309,810	5.2	43.5	51.3
40年	846,648	24,446	374,197	447,674	2.9	44.2	52.9
45年	1,058,905	18,143	469,876	570,035	1.7	44.4	53.8
50年	1,184,241	15,224	474,328	686,154	1.3	40.1	57.9
55年	1,258,353	13,873	464,992	774,508	1.1	37.0	61.5
60年	1,425,917	12,923	498,753	904,484	0.9	35.0	63.4
平成2年	1,618,075	11,478	524,629	1,067,656	0.7	32.4	66.0
7年	1,700,629	10,424	496,193	1,172,250	0.6	29.2	68.9
12年	1,699,750	9,067	426,928	1,230,386	0.5	25.1	72.4
17年	1,736,859	8,935	378,582	1,299,538	0.5	21.8	74.8
22年 <sup>4)</sup>	1,703,374	7,814	334,137	1,274,381	0.5	19.6	74.8

- 1) 「分類不能の産業」を含む。
- 2) 各調査時の産業分類による。平成22調査の分類については次ページ参照。
- 3) 14歳以上就業者数
- 4) 労働者派遣法に基づく派遣労働者は平成17年以前の調査では「労働者派遣業」に分類していたが、22年調査から派遣先で実際に従事する産業を基に分類している。

図8-1 産業（3部門）別15歳以上就業者数の割合の推移（昭和25年～平成22年）



注) 3部門の分類は各調査時の産業分類による。平成22調査の分類については次ページ参照。

## 2 産業大分類別就業者

「医療、福祉」の割合が拡大し、「卸売業、小売業」、「製造業」は縮小

15歳以上就業者を産業大分類別にみると、「卸売業、小売業」が286,283人（就業者数の16.8%）と最も多く、次いで「製造業」が214,184人（同12.6%）、「医療、福祉」が158,540人（同9.3%）となっています。

また、産業（大分類）別の割合を平成17年と比べると、「医療、福祉」は1.6ポイントの上昇、「卸売業、小売業」は1.0ポイント、「製造業」は0.4ポイントの低下となっています。

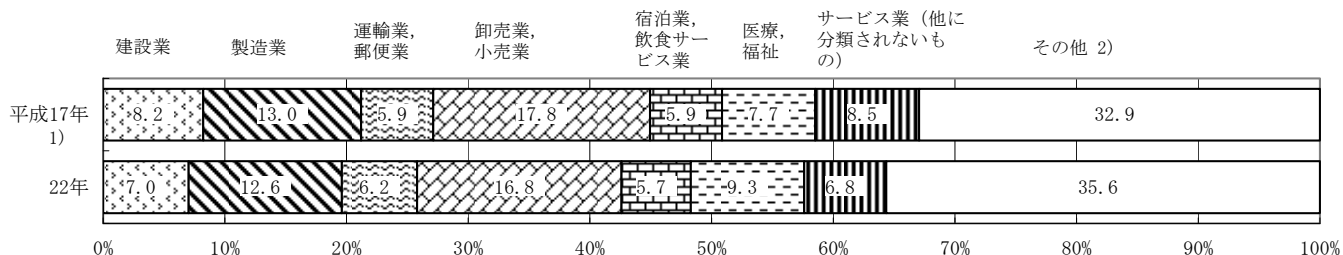
（表8-2、図8-2）

表8-2 産業（大分類）別15歳以上就業者数（平成17、22年）

産業大分類	実数		割合（%）		増減数	増減率（%）
	平成17年 <sup>1)</sup>	22年	平成17年 <sup>1)</sup>	22年		
総数	1,734,296	1,703,374	100.0	100.0	△ 30,922	△ 1.8
A 農業，林業	9,546	7,551	0.6	0.4	△ 1,995	△ 20.9
B 漁業	419	263	0.0	0.0	△ 156	△ 37.2
C 鉱業，採石業，砂利採取業	250	220	0.0	0.0	△ 30	△ 12.0
D 建設業	142,492	119,733	8.2	7.0	△ 22,759	△ 16.0
E 製造業	225,029	214,184	13.0	12.6	△ 10,845	△ 4.8
F 電気・ガス・熱供給・水道業	6,947	7,088	0.4	0.4	141	2.0
G 情報通信業	117,336	121,224	6.8	7.1	3,888	3.3
H 運輸業，郵便業	103,104	105,523	5.9	6.2	2,419	2.3
I 卸売業，小売業	308,597	286,283	17.8	16.8	△ 22,314	△ 7.2
J 金融業，保険業	56,818	59,749	3.3	3.5	2,931	5.2
K 不動産業，物品賃貸業	50,832	51,899	2.9	3.0	1,067	2.1
L 学術研究，専門・技術サービス業	87,936	88,232	5.1	5.2	296	0.3
M 宿泊業，飲食サービス業	102,969	96,975	5.9	5.7	△ 5,994	△ 5.8
N 生活関連サービス業，娯楽業	59,975	59,643	3.5	3.5	△ 332	△ 0.6
O 教育，学習支援業	76,051	77,161	4.4	4.5	1,110	1.5
P 医療，福祉	132,895	158,540	7.7	9.3	25,645	19.3
Q 複合サービス事業	12,676	4,675	0.7	0.3	△ 8,001	△ 63.1
R サービス業（他に分類されないもの）	148,030	115,193	8.5	6.8	△ 32,837	△ 22.2
S 公務（他に分類されるものを除く）	41,795	42,196	2.4	2.5	401	1.0
T 分類不能の産業（再掲）	50,599	87,042	2.9	5.1	36,443	72.0
第1次産業（A、B）	9,965	7,814	0.6	0.5	△ 2,151	△ 21.6
第2次産業（C～E）	367,771	334,137	21.2	19.6	△ 33,634	△ 9.1
第3次産業（F～S）	1,305,961	1,274,381	75.3	74.8	△ 31,580	△ 2.4

1) 総務省統計局の平成17年国勢調査 新産業分類特別集計結果による。一部の調査票を抽出して集計した抽出詳細集計に基づいて推計、集計しており、基本集計（全ての調査票を用いた集計）とは一致しない。

図8-2 産業（大分類）別15歳以上就業者の割合（平成17年、22年）



- 1) 総務省統計局の平成17年国勢調査 新産業分類特別集計結果による。一部の調査票を抽出して集計した抽出詳細集計に基づいて推計、集計しており、基本集計（全ての調査票を用いた集計）とは一致しない。
- 2) 「その他」に含まれるのは、「農業、林業」、「漁業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務（他に分類されるものを除く）」及び「分類不能の産業」である。

### 3 就業者の男女、年齢構成

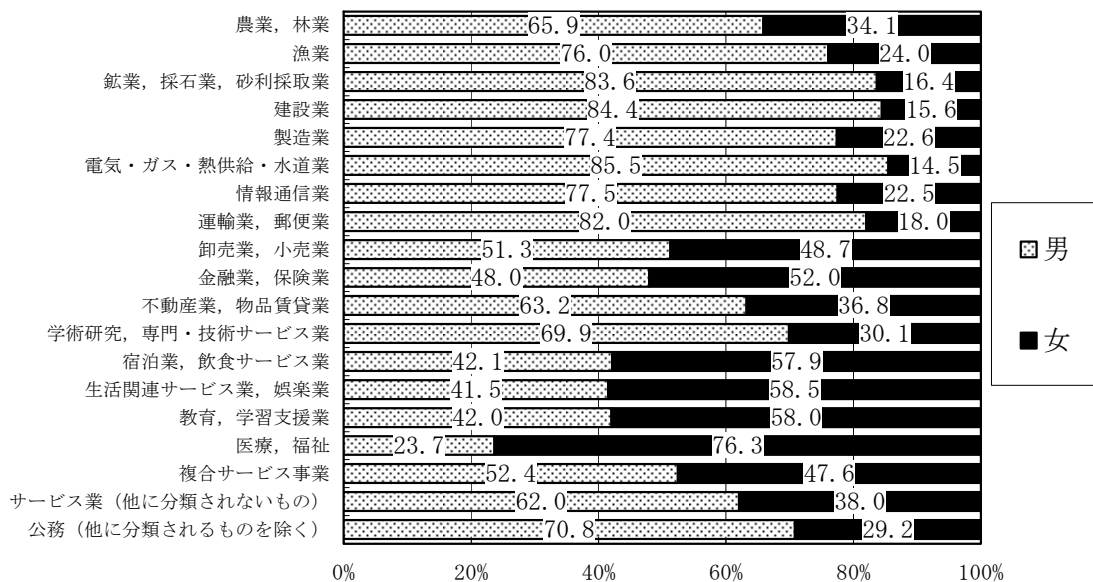
男性は「製造業」が多く、女性は「卸売業, 小売業」が多い

15歳以上就業者数の産業大分類を男女別にみると、男性が最も多いのは、「製造業」（165,700人）で、以下、「卸売業, 小売業」（146,749人）、「建設業」（101,090人）と続いています。一方、女性が最も多いのは、「卸売業, 小売業」（139,534人）で、以下、「医療, 福祉」（121,025人）、「宿泊業, 飲食サービス業」（56,139人）と続いています。（表8-3）

表8-3 産業（大分類）、男女別15歳以上就業者数（平成22年）

産業大分類	就業者数			産業別割合(%)	
	総数	男	女	男	女
総数	1,703,374	1,015,632	687,742	100.0	100.0
A 農業, 林業	7,551	4,975	2,576	0.5	0.4
B 漁業	263	200	63	0.0	0.0
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	220	184	36	0.0	0.0
D 建設業	119,733	101,090	18,643	10.0	2.7
E 製造業	214,184	165,700	48,484	16.3	7.0
F 電気・ガス・熱供給・水道業	7,088	6,059	1,029	0.6	0.1
G 情報通信業	121,224	93,954	27,270	9.3	4.0
H 運輸業, 郵便業	105,523	86,537	18,986	8.5	2.8
I 卸売業, 小売業	286,283	146,749	139,534	14.4	20.3
J 金融業, 保険業	59,749	28,656	31,093	2.8	4.5
K 不動産業, 物品賃貸業	51,899	32,810	19,089	3.2	2.8
L 学術研究, 専門・技術サービス業	88,232	61,670	26,562	6.1	3.9
M 宿泊業, 飲食サービス業	96,975	40,836	56,139	4.0	8.2
N 生活関連サービス業, 娯楽業	59,643	24,764	34,879	2.4	5.1
O 教育, 学習支援業	77,161	32,434	44,727	3.2	6.5
P 医療, 福祉	158,540	37,515	121,025	3.7	17.6
Q 複合サービス事業	4,675	2,452	2,223	0.2	0.3
R サービス業（他に分類されないもの）	115,193	71,434	43,759	7.0	6.4
S 公務（他に分類されるものを除く）	42,196	29,870	12,326	2.9	1.8
T 分類不能の産業（再掲）	87,042	47,743	39,299	4.7	5.7
第1次産業（A, B）	7,814	5,175	2,639	0.5	0.4
第2次産業（C~E）	334,137	266,974	67,163	26.3	9.8
第3次産業（F~S）	1,274,381	695,740	578,641	68.5	84.1

図8-3 産業（大分類）、男女別15歳以上就業者の割合（平成22年）



### 「卸売業、小売業」は全ての年齢階級で割合が高い

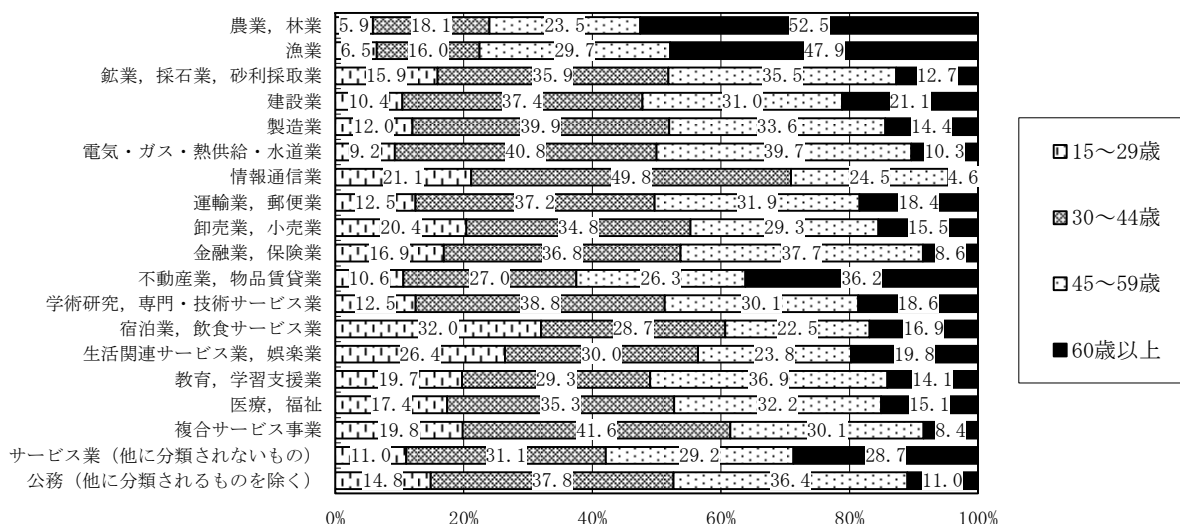
産業大分類別就業者数の割合を年齢階級別にみると、全ての年齢階級で「卸売業、小売業」が最も高くなっています。

「卸売業、小売業」以外の産業では、15～29歳は「宿泊業、飲食サービス業」（10.6%）、30～44歳は「製造業」（14.0%）、45～59歳も「製造業」（14.2%）、60歳以上は「サービス業（他に分類されないもの）」（11.3%）の割合がそれぞれ高くなっています。（表8-4）

表8-4 産業（大分類）、年齢（4区分）別15歳以上就業者数（平成22年）

産業大分類	15歳以上就業者数						産業別割合(%)					
	総数	15～29歳	30～44歳	45～59歳	60歳以上	65歳以上	総数	15～29歳	30～44歳	45～59歳	60歳以上	65歳以上
総数	1,703,374	292,970	609,890	507,797	292,717	144,877	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業，林業	7,551	442	1,369	1,772	3,968	3,038	0.4	0.2	0.2	0.3	1.4	2.1
B 漁業	263	17	42	78	126	98	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
C 鉱業，採石業，砂利採取業	220	35	79	78	28	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D 建設業	119,733	12,505	44,730	37,176	25,322	11,695	7.0	4.3	7.3	7.3	8.7	8.1
E 製造業	214,184	25,765	85,487	72,013	30,919	13,656	12.6	8.8	14.0	14.2	10.6	9.4
F 電気・ガス・熱供給・水道業	7,088	655	2,889	2,811	733	116	0.4	0.2	0.5	0.6	0.3	0.1
G 情報通信業	121,224	25,626	60,313	29,727	5,558	1,732	7.1	8.7	9.9	5.9	1.9	1.2
H 運輸業，郵便業	105,523	13,142	39,267	33,673	19,441	7,677	6.2	4.5	6.4	6.6	6.6	5.3
I 卸売業，小売業	286,283	58,456	99,722	83,772	44,333	21,317	16.8	20.0	16.4	16.5	15.1	14.7
J 金融業，保険業	59,749	10,090	21,997	22,537	5,125	1,829	3.5	3.4	3.6	4.4	1.8	1.3
K 不動産業，物品賃貸業	51,899	5,484	13,988	13,639	18,788	11,862	3.0	1.9	2.3	2.7	6.4	8.2
L 学術研究，専門・技術サービス業	88,232	11,036	34,199	26,571	16,426	8,192	5.2	3.8	5.6	5.2	5.6	5.7
M 宿泊業，飲食サービス業	96,975	31,015	27,809	21,805	16,346	7,701	5.7	10.6	4.6	4.3	5.6	5.3
N 生活関連サービス業，娯楽業	59,643	15,747	17,910	14,206	11,780	6,625	3.5	5.4	2.9	2.8	4.0	4.6
O 教育，学習支援業	77,161	15,210	22,603	28,462	10,886	4,796	4.5	5.2	3.7	5.6	3.7	3.3
P 医療，福祉	158,540	27,605	56,014	51,000	23,921	11,101	9.3	9.4	9.2	10.0	8.2	7.7
Q 複合サービス事業	4,675	927	1,947	1,406	395	123	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1
R サービス業（他に分類されないもの）	115,193	12,700	35,772	33,626	33,095	17,155	6.8	4.3	5.9	6.6	11.3	11.8
S 公務（他に分類されるものを除く）	42,196	6,264	15,939	15,354	4,639	1,729	2.5	2.1	2.6	3.0	1.6	1.2
T 分類不能の産業（再掲）	87,042	20,249	27,814	18,091	20,888	14,428	5.1	6.9	4.6	3.6	7.1	10.0
第1次産業（A、B）	7,814	459	1,411	1,850	4,094	3,136	0.5	0.2	0.2	0.4	1.4	2.2
第2次産業（C～E）	334,137	38,305	130,296	109,267	56,269	25,358	19.6	13.1	21.4	21.5	19.2	17.5
第3次産業（F～S）	1,274,381	233,957	450,369	378,589	211,466	101,955	74.8	79.9	73.8	74.6	72.2	70.4

図8-4 産業（大分類）、年齢（4区分）別15歳以上就業者の割合（平成22年）



## 4 行政区別就業者の産業構成

「卸売業, 小売業」は全ての区で最も多く、「製造業」は港北区、「医療, 福祉」は旭区が多い

産業大分類別就業者を行政区別にみると、全ての区で「卸売業, 小売業」が最も多くなっています。その他は、「製造業」、「医療, 福祉」が上位を占めており、「製造業」は港北区、「医療, 福祉」は旭区で多くなっています。(表8-5)

表8-5 産業(大分類)別15歳以上就業者数—横浜市・行政区・神奈川県・全国(平成22年)

行政区	農業, 林業	漁業	鉱業, 採石業, 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業, 郵便業	卸売業, 小売業	金融業, 保険業
横浜市	7,551	263	220	119,733	214,184	7,088	121,224	105,523	286,283	59,749
鶴見区	189	7	17	12,244	20,514	538	9,381	10,129	20,652	3,461
神奈川区	509	32	9	7,793	12,861	461	9,129	8,216	19,068	3,777
西区	33	-	7	2,448	4,813	203	4,208	2,723	7,610	1,649
中区	45	12	10	2,982	4,717	183	3,840	4,906	10,176	1,989
南区	121	1	8	6,780	8,863	389	5,401	6,623	15,427	2,536
港南区	306	4	10	7,698	11,281	473	5,920	6,532	17,029	3,348
保土ヶ谷区	338	1	14	7,476	10,185	487	6,399	6,392	15,699	3,131
旭区	484	3	29	9,626	12,831	636	6,147	7,284	19,270	3,334
磯子区	124	4	7	4,811	9,785	538	3,979	5,892	12,187	2,215
金沢区	216	183	10	5,269	13,035	433	4,907	6,524	15,851	2,874
港北区	812	2	21	8,949	21,921	458	15,947	7,268	26,751	6,749
緑区	642	1	5	5,617	11,865	308	5,353	4,616	14,273	2,590
青葉区	678	2	32	7,397	15,864	344	12,304	5,662	24,063	8,032
都筑区	926	2	10	6,407	13,899	303	6,853	4,312	16,805	3,936
戸塚区	688	3	15	9,258	18,383	483	10,897	6,997	20,953	4,700
栄区	319	2	8	3,688	7,007	231	3,430	3,266	9,191	1,736
泉区	734	4	4	6,032	9,408	339	4,296	4,077	11,535	2,237
瀬谷区	387	-	4	5,258	6,952	281	2,833	4,104	9,743	1,455
神奈川県	33,456	1,588	574	290,482	601,622	16,865	253,891	248,903	677,175	124,648
全国	2,204,530	176,885	22,152	4,474,946	9,626,184	284,473	1,626,714	3,219,050	9,804,290	1,512,975

行政区	不動産業, 物品賃貸業	学術研究, 専門・技術サービス業	宿泊業, 飲食サービス業	生活関連サービス業, 娯楽業	教育, 学習支援業	医療, 福祉	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)	公務(他に分類されるものを除く)	分類不能の産業
横浜市	51,899	88,232	96,975	59,643	77,161	158,540	4,675	115,193	42,196	87,042
鶴見区	3,856	5,794	7,810	4,586	3,944	10,038	271	9,306	1,984	8,003
神奈川区	3,557	6,067	7,272	3,900	4,743	9,129	273	8,037	2,344	6,343
西区	1,608	2,773	3,065	1,738	1,919	3,679	98	3,203	1,507	2,696
中区	2,348	3,582	5,461	2,261	2,532	4,842	114	4,341	1,991	4,645
南区	2,731	4,216	6,811	3,574	3,372	8,933	243	7,480	2,496	5,471
港南区	3,020	5,169	5,433	3,668	4,716	10,429	304	7,160	4,328	4,500
保土ヶ谷区	2,764	4,502	6,010	3,473	4,353	9,043	245	7,144	2,035	5,226
旭区	3,182	4,844	5,818	4,082	5,271	12,579	415	8,214	2,986	6,466
磯子区	2,160	3,649	4,465	2,625	3,204	7,260	179	5,691	2,247	3,452
金沢区	2,561	5,405	5,034	3,197	5,013	10,247	250	6,403	4,054	4,179
港北区	5,614	9,919	8,553	5,624	8,104	12,553	415	9,492	2,779	8,531
緑区	2,228	3,928	4,415	2,785	3,825	8,185	243	5,331	1,581	3,799
青葉区	5,155	9,514	6,534	4,586	8,243	12,315	429	7,294	2,038	6,699
都筑区	3,023	4,856	4,307	3,031	4,119	7,879	239	5,192	1,412	4,149
戸塚区	3,409	5,986	6,510	4,096	5,428	11,977	348	8,305	3,139	5,676
栄区	1,422	2,938	3,020	1,907	2,857	6,046	149	3,696	2,198	1,924
泉区	1,831	3,112	3,348	2,416	3,286	7,271	293	4,749	1,734	2,907
瀬谷区	1,430	1,978	3,109	2,094	2,232	6,135	167	4,155	1,343	2,376
神奈川県	114,878	199,862	244,429	150,034	189,536	383,167	14,126	277,919	119,975	203,812
全国	1,113,768	1,902,215	3,423,208	2,198,515	2,635,120	6,127,782	376,986	3,405,092	2,016,128	3,460,298